

超高齢社会の新しい 地域ガバナンスの構築



日本では団塊の世代が後期高齢者層に大規模に遷移しつつある。「地域包括ケア」という概念が広く認知されているように、実際の地域の高齢者問題は利用できる社会資源、環境基盤、財源が限られていることから、「地域」を単位として公的資源の配分をどのように行うかが肝要である。本フォーラムでは、地域やコミュニティといったミクロな単位を基盤とする超高齢社会の新しい地域ガバナンスについて、社会資源、基盤資源、財政資源の公的資源の配分の観点から地域をどのように経営するかという問いに答える議論を展開したい。

討論に向けたキーワード



スピーカー

アリ＝ヴェイッコ・アンティロイコ
フィンランド・タンペレ大学経営学部 Adjunct Professor

ニューバブリックガバナンス、ニューローカリズム、包摂都市、
エネープリングシティ、ケアリングシティ

郭 書琴
台湾・国立成功大学教授

福祉の法体系、高齢者介護費用、台湾の家族法の事例

ペッカ・ヴァルカマ
フィンランド・トゥルク大学トゥルク経済学部 Adjunct Professor、
ヘルシンキ市上席研究員

財政連邦主義、公的サービス分配、北欧の高齢者介護

塩見 康博
立命館大学理工学部教授

アクセシビリティ、交通行動、免許返納、オンラインサービス、
高齢社会



討論者

森 裕之
立命館大学政策科学部教授

ポスト資本主義、包摂ケアシステム、ジェントリフィケーション、
新ムニシパリズム、社会的連帯経済

モデレーター 吉田 友彦 立命館大学政策科学部教授

プログラム

- 14:30 登録
- 15:00-15:10 開会のあいさつと主旨説明
- 15:10-16:30 プレゼンテーション
各スピーカーは高齢社会の新しいガバナンスのあり方について、社会資源、基盤資源、財政資源の公的資源の配分の観点から地域をどのように経営するかという問いに関する話題を提供する。
- 16:30-16:40 休憩
質疑応答・日本語および英語の Webinar Chat
- 16:40-17:00 問題解決志向の枠組みからのコメント
- 17:00-17:20 オンライン討論
- 17:30 要約と閉会の挨拶

2024年1月28日(日) 15:00～17:30 (日本時間)

言語：英語(日本語、中国語、韓国語による同時通訳あり)

会場：ZoomによるWebinar形式(配信はOICより対面で行います)

要事前登録
以下のフォームよりご登録ください

<https://tinyurl.com/ypmjky64>

